

環境掲示板

植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 8月2日(日) 13:00~14:30

9月6日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ

参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

第50回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ 「夜のふしぎ発見探検」

日時 8月15日(土) 18:30~20:30

事前に申込みが必要

参加費 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

木工教室「竹トンボ作り」

主催 ごみ対策課

日時 8月の全開館日(10:00~16:00)

場所 三鷹市リサイクル市民工房

対象 特になし

定員 なし

料金 無料

申込先 直接会場へ(多数の場合には別日にして頂くことがあります)

問合せ ごみ対策課 内線 2535

「環境ポスター」募集

~身のまわりにある「エコ生活」を、あなたのメッセージ(言葉)とともに、絵で表現してください~

主催 三鷹市

テーマ 「エコ生活」

応募規格 画用紙(B4サイズ)に手描きしたもの

対象 三鷹市内の小学生

しめきり 9月4日(金)

応募 環境対策課に持参か郵送

表彰 優秀な作品には賞状とジブリ美術館ペア招待券を贈呈

- ・市長賞 1人
- ・教育長賞 1人
- ・環境基金活用委員会会長賞 1人
- ・優秀賞 10人

応募者全員に参加記念賞を差し上げます

問合せ 環境対策課 内線 2523~2525

編集後記

今年は、大沢のほたるが多かったと緑のボランティアの仲間から聞きました。ほたるが育つための条件の一つに、湧水があります。エサになるカワニナのために湧水が必要です。国分寺崖線に残る自然環境を、いつまでも大切に保全したいものだと願っています。(安達)

発行：みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

みたか環境ひろば

第15号

2009年8月1日発行

三鷹の湧水

~保全を願って湧水量の観察をする~

東京都の平成20年度の湧水調査によると、三鷹市内の湧水地点は7箇所となっていて、そのうち5箇所は大沢地区の国分寺崖線からの湧水で、いずれも野川に注いでいます。その他にも、2箇所、仙川の勝淵橋下流と神田川の神田上水橋上流にもあります。

大沢地区の湧水は崖線タイプの湧水です。表層の土壌は降雨が浸透しやすい関東ローム層で、その下は武蔵野礫層からなる帯水層があり、その下部に水を通しにくい粘土層や泥岩の層があります。古多摩川によって浸食され露出した段丘の崖(国分寺崖線)の帯水層から、湧水が流れ出ています。

現在、どの程度の湧水量が湧き出ているのでしょうか?今年7月、野川に注ぐ地点での湧水量を簡易な方法で測定してみました。一番多かったのは、野川公園内の東八道路の南(通称マンション下)付近の湧水(約40リットル/秒)でした。この湧水の大部分は、御狩野橋上流で野川に注いでいます。また野川公園わき水広場にある2箇所の湧水地点の湧水は一緒に、くぬぎ橋の下流で約20リットル/秒が野川に注いでいます。湿生花



東八道路南(通称マンション下)の湧水



野川公園わき水広場の湧水

園、第7中学校の崖下(約0.5リットル/秒)、大沢2丁目の民家でも湧水が流れ出ています。湧水温度は約18度で、年間の変動は大きくありません。湧水量が減少しないよう願っています。(安達)

生ごみのリサイクルで「エコ野菜」

三鷹市と JA むさし三鷹地区青壮年部では、農産物の生産、消費、資源化の循環モデルを構築することにより、循環型社会の形成推進に向けた普及及び、啓発のために、市内の3保育園と2小学校の給食から出る生ごみを、ごみ処理機でコンポスト化し、更に公園や街路樹の剪定枝葉を加え堆肥化センターで自然熟成させ、良質な堆肥を作っています。その堆肥を市内の農家に使用してもらい、エコ野菜を作っています。

堆肥生産量・エコ野菜栽培

年度	堆肥生産量(m3)	配布農家数	成果品
14	4	5	ほうれんそう とうもろこし
15	8	15	とうもろこし
16	12	15	とうもろこし
17	12	20	とうもろこし
18	16	20	とうもろこし
19	20	20	とうもろこし
20	40	25	とうもろこし

今年(平成21年)7月も、とうもろこしの収穫がありました。生産者によると、とうもろこしは苗を作るのに100粒の種を蒔いても6割位が使える苗にならず、それを植えつけても泡の螟蛾(害虫)が付きやすく、更に育たないものがある

との事。

配られた堆肥を使ったからと言って、生産物の味が良くなるとか生産量が多くなるという事より、生ごみを畑で使い農産物を作り、消費者に食べてもらう、というリサイクルの一端を担うという事が喜びであると言っていました。(牟礼7丁目田中さん談)

生産された農産物は、生ごみをコンポスト化している保育園、小学校に順番に送られ、その外市立小学校の4年生全員に贈られます。とうもろこしを手にした児童は、喜ぶとともに、環境教育、消費者教育につながることでしょう。また、更に量は少ないのですが庭先販売に回すものもあるそうです。

(森)



平成21年7月に収穫したとうもろこし

ドリームエコミュージカルを上演

6月28日(日) 環境月間行事として、「ドリームエコミュージカル~バスに乗ってゴゴゴ~」がみたか環境活動推進会議と三鷹市の主催で上演されました。

会場の三鷹市公会堂には朝から整理券を求める長い行列ができ、入場者数は最終的に540人に上りました。主演のクッキーズスペシャルのお姉さんたちが、会場の子供たちと一体になった楽しい演劇や歌を上演し、楽しみながら環境への意識も芽生えたのではないかと思います。

帰り際、出演したお姉さんたちとの記念撮影で見せた子供たちの笑顔がとても印



「おんだんかで地球が困っている」

象的でした。この子供たちに緑の地球を残して行かなければならないという想いを更に強くしました。(築田)

三鷹のみち：大沢の“見晴らし道路”

人見街道の御狩野橋の野川をしばらく下流に歩いてから、はげ(国分寺崖線)の階段を国立天文台裏に登ると、天文台の塀に沿う舗装された道に出ます。そこは、コナラ、クヌギ、シデなどの大木が茂り、樹木のあいだから西南方向に、眼前に調布飛行場や武蔵野の森公園、そしてはるかに富士山と丹沢の山並みが一望できます。全長約200mの短い道ですが、絶好の見晴台コースです。

この一帯は国有地で市の管理区域となっており、近隣でボランティアを続けている榛沢勇さんのお話によると「は



大沢の“見晴らし道路”

けの湧水路を整備して、今年は5月下旬から6月末まで、ホタルが見られた」とのことです。(山口)